

平成 28 年度 事業計画書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

I. 事業活動

1. 奨学金支給事業

	平成 28 年度計画			
		うち新奨学生	支給額	総支給額
大学生	41 名	(7 名)	5 万円/月	24,600 千円/年
大学院生	(注) 9 名	(4 名)	7 万円/月	7,560 千円/年
合計	50 名		総額	32,160 千円/年

(注) 大学奨学生からの新継続者 4 名を含みます。

＜ 新奨学生の採用 ＞

昨年度まで基本財産株式の配当の回復に伴い、少しずつ新奨学生の採用を増加させ奨学金支給総額も 3 千万円を超える状況になってきました。

しかし、今年度は中国の景気減速、資源価格の下落等経済環境の先行きは予断を許さないものがあるため、総奨学生人員 50 名を目途に、新規採用を 7 名程度に絞ることにします。今年度も対象の大学の一部見直しを行った上、この 7 名の新奨学生の採用につき、平成 28 年 6 月 23 日開催の「奨学生選考委員会」で決定します。

＜ 参 考 ＞

今後 4 年間の奨学生総数及び年間奨学金試算表 (総奨学生 50 名以内で予想)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
学部生 (単位:名)	41 (新採用 7 名)	39 (新採用 8 名)	38 (新採用 10 名)	35 (新採用 10 名)
院生 (単位:名)	9	11	12	10
奨学生総数 (単位:名)	50	50	50	45
年間支給額 (単位:千円)	32,160	32,640	32,880	29,400

2. 交流事業

(1) バス旅行、新奨学生歓迎会（平成 28 年 7 月 2 日予定）

昨年度、約 20 年振りに皇居、博物館等をめぐる都内バスツアーを復活いたしました。奨学生の歴史、科学等の教養啓発及び親睦を深める上で好評でした。今年度はこれに、例年行っている新奨学生の顔合わせ、先輩奨学生との交流を目的とした新奨学生歓迎会を組み合わせて交流事業の充実を図ることとします。

(2) 第 41 号会誌の発行（平成 28 年 9 月予定）

当会の会誌は主に在籍奨学生、卒業奨学生の寄稿に基づいており、奨学生同士の親睦を深める目的で発行します。昨年度は 40 周年記念事業を特集し、多くの寄稿を頂きました。今年度も引き続き極力広い範囲からの寄稿を勧奨する方針です。なお、会誌は奨学生、卒業奨学生、育英会役員をはじめ当育英会の理解を深めるため育英会関係機関、大学、団体等に配布します。

(3) 奨学生の集い（平成 28 年 12 月予定）

奨学生の横の結束を深め、社会人の諸先輩との交流や海外からの留学生との接触の機会も持てる非常に有意義な会としての『集い』を今年度も行います。来賓、役員、英国・アジアからの留学生、各方面で活躍の卒業生が一同に会し奨学生を刺激、激励してもらう上で有効な企画を幹事奨学生（3 年生）と共に工夫していきたいと思えます。

(4) 卒業奨学生歓送会（平成 29 年 3 月予定）

本年度卒業予定者が社会人としてのスタートにあたり在学生会一同で祝し、歓送会を行います。

(5) 奨学生に対する個別指導、助言

毎月 奨学金給付は育英会事務所において手渡しを原則としており、その時に奨学生より現在学んでいることや生活状況、サークル活動等の近況報告を受け、相談があれば個別的に応援、指導、助言をします。また、育英会事務所を学生同士の交流の場として提供します。

II. 管理活動

1. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項
平成 28 年 6 月 6 日	平成 27 年度事業報告及び決算書承認の件、評議員会召集の件
平成 28 年 6 月 23 日	報告事項のみの予定
平成 29 年 3 月	平成 29 年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項
平成 28 年 6 月 23 日	平成 27 年度事業報告及び決算書の承認の件

2. 内部体制整備

(1) 諸規程の整備

以上